第1回福井県高校生そば打ち選手権大会・見学報告

審査の様子(団体戦)

8月26日(月)に開催される「第9回全国高校生そば打ち選手権大会」に出場する福井県内の4校が集まり、本選に向けての壮行も兼ねた「第1回福井県高校生そば打ち選手権大会」が開催されました。「全国高校生そば打ち選手権大会」は全麺協が協賛・協力していることもあり、福井県内の全麺協会員も高校生にそば打ち指導をしています。そのため、その様子を見学して来ましたので、概要についてご報告いたします。（報告：広報渉外部　谷端淳一郎）

1. 日　時　　令和元年8月7日(水)　午前10時　～　午後2時
2. 会　場　　共同製麺所2F（福井県福井市成和2丁目）
3. 主　催　　福井県麺類業生活衛生同業組合
4. 出場校　　県立科学技術高校、啓新高校、県立武生高校・池田分校、県立丸岡高校
5. 内　容　　「団体戦(4名が4分間交代でそば打ち)」…　4校5チーム
　　「個人戦」…　10名(4校)
6. 審査員　日本麺類業団体連合会・副会長　三嶋吉晴(審査員長)
　　福井県麺類業生活衛生同業組合・理事長　宝山栄一
　　〃　　・副理事長　木下善博
　　手打ちそば教室　赤松塾・代表　赤松年加津(全麺協会員)
7. 見学した感想・期待

一般社団法人　日本麺類業団体連合会が主催する「第9回全国高校生そば打ち選手権大会」には、団体戦・個人戦に22都道府県から36校の高校が出場を予定しています。このたび開催された「福井県高校生そば打ち選手権大会」は、「全国高校生そば打ち選手権大会」に出場する都道府県内の高校生を一堂に集めて開催された、全国では初めての大会でした。そのため、注目度がとても高く、「福井県庁」をはじめとした行政関係者、県議会議員、担当している高校の教職員、出場高校の応援・見学生徒、全麺協会員、県内のそば屋さん、そば製粉所、マスコミ、出場する高校生の父兄など、そばに係わる県内の関係者がたくさん集まりました。

真剣な眼差しでそば打ちに取組んでいる高校生の姿を見て、大変すがすがしい気持ちになったと同時に、「人と人をつなげ、社会を元気にする」そば打ちの可能性を再認識しました。高校で生徒のそば打ちを担当している教員の方々と話しをしたところ、「そばを通して、生徒たちが地域の方々と触れ合う機会が増えた」「そばを食べた地域の人たちから感謝されて生徒が自信を持ち、(そばを通して)喜びを感じるようになった」等々、「そば打ち」を取り入れたことで教育的に大きな成果が出ていることを教えてもらいました。一方で、「せっかく高校でそば打ちに取組んでも、3年間で終えてしまうのが本当に惜しい」との声も耳にすることが出来ました。

「高校生そば打ち選手権大会」の開催は、今年で第9回目を数えます。年々出場校も増えている中で、「高校生のそば打ち」は2つの点で大きな可能性があると私は期待しています。1つは高校生の活動を通して「そば打ちの魅力」を社会的に発信できること。もう1つは日本青年団協議会と連携することによって、高校生⇒　青年団　⇒　全麺協　と、高校生で始めた「そば打ち」が途切れずに、そば打ち段位認定受験から全麺協入会へとつなげる道筋が出来ることです。

－ スナップ写真 －

主催者あいさつ

県農林部長あいさつ

審査員長の激励

選手宣誓

団体戦

個人戦

見学席

表彰式